

頑張る 農業法人

増える耕作放棄地、休耕地を活用して生産や担い手育成などを進めるため、2010年に設立された農業生産法人「(株)マイファーム滋賀農場」。

取締役の谷則男さん(50)は「親会社である(株)マイファームの取り組みを補うために、子会社が必要と考え設立した」と話す。

同社は滋賀県野洲市に所在し、昨年には城陽市に京都支店を設け、エリア拡大を図る。

親会社では、休耕地や耕作放棄地を借りて再生し、自分で作って自分で食べる「自産自消」を理念に掲げ、有機質肥料、無農薬栽培にこだわる貸農園、体験農園を展開する他、農業学校を開設して新規就農者の育成にも

努める。

一方で、中山間地などの休耕地の解消はこれらの事業だけでは補いきれないという課題が浮かび上がり、農地集積や自ら農作物生産を行うための法人設立が必要と考え、休耕地のあった野洲市に谷さんと親会社の出資で設立した。

役員は代表取締役の西辻一真さん(31)と谷さんを含めた取締役が2人。従業員5人と農繁期にはパートタイマー5人を雇用する。

同社では野洲市で利用権を設定した3.5ヘクタール、うち1.5ヘクタールのハウス28棟でトマトや小松菜、ナスなど多品目の野菜を、無農薬、有機質肥料で栽培する。

今年からは、大手育苗

(株)マイファーム滋賀農場

城陽市



野菜育苗ハウスで頑張る谷さん(左)とスタッフら

休耕地活用し軌道に

業者との接ぎ木苗の契約する。圃場(ほじょう)内にもある。栽培販売に取り組んでいに直売所を設置する予定このような動きを各地

「自産自消」で担い手育成も

に広げるため昨年、城陽市内に京都支店を設置した。現在は奈良県でカボチャを10ヘクタール栽培しているが、今後は府内で休耕地を活用して規模拡大を目指す。

親会社が運営する農業学校の卒業生は、地域農業の担い手として就農する他、農業関連事業に従事している。谷さんは「府内においても、休耕地の活用、規格外の農作物の加工や販売に取り組みたい。さまざまな形でJAと連携を図り、より多く若い担い手の就農を勧めるためにも規模拡大を目指す」と思いを述べる。

▽法人所在地 〓 本社、滋賀県野洲市竹生長敷2234。電話 〓 077(587)3401。京都支店、城陽市長池里開109。電話 〓 0774(56)0388。